

令和4年度厚生労働科学研究 長寿政策研究事業

～事例検討から看護の質を考えるオンラインワークショップ～

「標準化された評価指標を活用した事業所の質向上の取り組み
(PDCA サイクル)の開発」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しい中、標題の調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。令和4年度厚生労働科学研究「早期の在宅療養移行及び療養継続支援における訪問看護による効果測定及び評価のための研究」（研究代表者：山本則子）では、本研究室が開発した長期ケアの質評価を用いて、事業所の質向上を図ろうとするプログラム（PDCA サイクル）の開発に取り組んでおります。

本研究では、訪問看護事業所の管理者が全6回のオンラインワークショップを受講することによる事業所内への影響を検討することを目的としています。

本研究を通して、全国の訪問看護事業所で活用可能なプログラムを開発することにより、科学的根拠に裏付けされた効果的かつ効率的な看護サービス提供につなげることを目指しております。

日々のご業務でご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

【研究課題】

長期ケアの質指標に基づいた看護記録データベースシステムの開発（審査番号 2020344NI）

【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関:東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻

高齢者在宅長期ケア看護学分野

研究責任者:山本則子

【研究期間】

承認日 ～ 2025年12月1日

【研究目的】

訪問看護事業所の管理者が全6回のオンラインワークショップを受講することによる事業所内への影響を検討すること

【研究の概要】

◆対象者

- ・介護保険を利用している利用者が10名以上いる訪問看護事業所の管理者（または主任）

◆調査内容（管理者）

- （ワークショップ開始前）質問紙調査1回目*

- 全6回のワークショップへの参加

（期間：6か月間、頻度：月1回、時間：1時間/回）

- （ワークショップ終了後）質問紙調査2回目**

- （ワークショップ終了後）プログラム終了後のインタビュー調査（所要時間60分）

*ご自身についての質問紙調査（所要時間20分程度）、および利用者10名分の質問紙調査に回答いただきます（利用者1名につき所要時間20分程度）

*なお、事業所に関する質問紙も後日発送させていただきます（本日は同封しておりません）

**利用者10名分の質問紙調査に回答いただきます（利用者1名につき所要時間20分程度）

◆オンラインワークショップの概要

- ・期間：2022年10月から2023年3月

◆参加方法

1. 訪問看護師のための情報提供サイト（NsPace）から応募し、研究者から書類一式を受け取ります（現在）。
2. Zoomを用いて開催する事前オリエンテーションに参加してください（所要時間1時間程度）（同封の「事前オリエンテーションご案内」用紙をご覧ください）。
3. 本研究に同意した場合、**<同意書に署名>**の上、**<ワークショップ前調査票①>**に回答し、水色の返信用封筒に封入し、**9/30（金）までに**ポストへ投函してください。※同意撤回書はお手元に保管しておいてください
4. **<ワークショップ前調査票②>**は、少し時間がかかると存じます。**可能な限り、10/10（月）：第1回目ワークショップ前日まで**に、同封のレターパックに封入のうえ、ポストへ投函してください。

【研究協力の任意性と撤回の自由】

- ・この調査にご協力いただくかどうかは、みなさまの意思で決めていただけます。たとえ、調査にご協力いただかない場合でも、みなさまの不利益になることはございません。

- ・令和4年10月末日までは研究参加を取り消すことができます。その場合にも、みなさまの不利になることは決してございません。研究参加を取り消したい場合は、同意撤回書を下記連絡先へ送付ください。

【個人情報の保護】

- ・ご回答いただいた内容については統計的に処理いたしますので個人や事業所が特定されることはありません。
- ・収集したデータは、紙資料は鍵のかかったロッカーに保管し、電子ファイルは研究者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

【研究により得られた結果等の取扱い】

- ・研究の成果は、あなたの氏名など個人や施設が特定されないようにとりまとめ、報告書および学会発表や学術誌上などで公表させていただきます。調査の結果は、ご要望があった場合、全体の結果についてご説明いたします。

【研究参加者にもたらされる利益及び不利益】

- ・長期ケアの質指標に回答することで、日々のアセスメント・ケアを振り返ることにつながり、日々の看護ケアに役立つ可能性があります。
- ・この研究にご回答いただくために、みなさまの貴重な時間をいただくことになります。

【研究終了後の試料・情報等の取扱い方針】

- ・収集したデータは、この研究のためにのみ使用します。研究者の管理下にある場所で厳重に保管し、この研究が終了したあと5年間保管します。その後、裁断処理とパソコンのデータは完全消去します。

【あなたの費用負担】

- ・今回の研究に関するみなさまの費用の負担は一切ありません。

【研究から生じる知的財産権の帰属】

- ・本研究の結果として特許権等が発生する可能性はなく、研究によって得られる経済的利益はないものと考えられます。

【その他】

- ・この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

- ・この調査の費用は、令和4年度厚生労働科学研究長寿科学政策研究事業「早期の在宅療養移行及び療養継続支援における訪問看護による効果測定及び評価のための研究」（代表 山本則子）、帝人株式会社との共同研究「長期ケアの質指標に関する研究とシステム化」（代表 山本則子、共同研究者 五十嵐歩）ら支出されます。
- ・本研究における帝人株式会社の役割は、システム開発・改良および調査協力です。

この調査に関して、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく下記までお問合せ下さい。

【調査に関するお問い合わせ先】

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学分野

連絡担当者：角川由香

Tel : 03-5841-0241

Fax : 03-5841-3502

E-mail : sumi-ky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp